

ディボーション質問表



2月14日（日）先週一週間のディボーションをふり返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かせたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

15日（月）エステル記 1章

数少ない女性が主役の書物です。また、神様が直接出てこない聖書箇所です。しかし、この物語には力強く神様の存在とみ業を感じる、文学的に高い書物と言えるでしょう。

1. この物語はどのように始まりますか（10～22節）？
2. この王さまの態度、仕打ちから学べることは何でしょうか（1～12節）？ → お酒や悪ふざけをして、他人に気を配れず、傷つけてしまったことはないでしょうか？ その後、どうするだろうか？

16日（火）エステル記 2章

1. この国でどんなイベントが開催されましたか（2～4節）？
2. エステルが女王に立候補したとき、心得ていたことは何でしたか（15～20節）？
→ 人のアドバイスに素直でいられるほど、心に余裕と謙遜さをもっていますか。

17日（水）エステル記 3章

1. エステルやモルデカイはユダヤ人（神の民）のゆえに、とんでもないトラブルに巻き込まれました。それはどんなことだったのでしょうか（1～6節）？
→ 自分の信仰に妥協がないだろうか？ たとえそのことのためにトラブルに巻き込まれても、強く平安を持ち、愚痴をこぼさず立ち向かっているのでしょうか？
2. ハマンはどのようにして、自分の侮辱をはらそうとしましたか？ → どうかして自分の侮辱をはらそうと努力していませんか？ 自分の敵がどんな手を使ってもわたしをつぶそうとしてきたとしても、それよりも偉大な神様が共にいてくださることを信じ誠実に生きているのでしょうか？

18日（木）エステル記 4章

1. 問題を抱えたモルデカイはどうしましたか（1～3節）？
2. エステルは同胞に降り掛かった災いに対して、どのようなアイデアを提案しましたか？
[彼女は王妃だったので、関係ありませんでした]（10、11節）
→ 私は自分のこととして、国のためにとりなしているのでしょうか？

19日（金）箴言 1：1～19節

1. この書の目的が冒頭から明らかにされています。これらの目的についてあなたはどのように思いますか？
自分のことばで言い換えてみましょう。
2. 神の知恵・知識と人の知恵・知識は何が違うのでしょうか。
3. ここでいう悪人の定義は何でしょう。あなたはどのようにこの教えを実践しますか？

20日（土）箴言 1：20～33節

1. 知恵と知識を軽んじると何がおきるのでしょうか。また知恵や知識から人を遠ざけるものは何でしょうか？
2. この箇所で頻繁に出てくる「わたし」とはだれですか？ この方に近づく鍵は何でしょう。